



林 声

2021

3月号



県内各地の森林をご紹介します「様々なスタイルの森・おかやま」。今回は、津山市加茂町にある住友林業株式会社の社有林です。木を植えて、森を育みながら、木を活用し続ける「保続林業」の理念が森林経営の根幹として、時代を超えて脈々と受け継がれています。

写真：津川ダムから望む再生林された住友林業所有山林（写真右奥）。

（詳細はP 2 に記載）

目 次

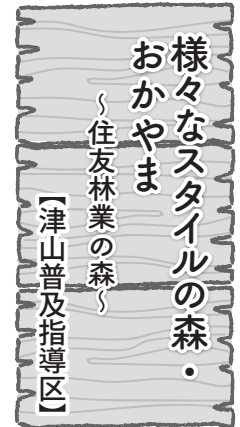
様々なスタイルの森・おかやま～住友林業の森	2	林業技能講習等情報	10
生き活き！林務の現場（新見市農林課）	3	林産物市況	11
普及指導区の情報（倉敷普及指導区）	4	山火事予防運動月間	13
鏡野町産材ヒノキを使用した学習機の 組み立てワークショップ	5	森林・林業施設の紹介（石蓮寺みんなの森）	14
労働災害の発生状況	5		
おかやま森づくり県民税を活用した取組み （岡山県教育庁）	6		
『ニューフェイスです！』 （備中南森林組合 山本晃誠さん）	7		
令和2年度林業技術研修	8		
平成30年7月豪雨による 治山・林道関係災害の復旧	9		

【ぼっけ～木になる情報】

Q. 新型コロナウイルス感染症の影響で、県内への観光客が減少していますが、自然公園の誘客アップに向けて、どんな取組みをされていますか？



© 岡山県「ももっち」



一 はじめに

今回紹介するのは、津山市加茂町の住友林業(株)が所有する社有林です。津川ダム上流の奥津川溪谷沿いに広がり、面積は約2800畝で、1年生から98年生までのヒノキ人工林及び約70年生の広葉樹で構成されています。



森林の状況

二 経営方針

住友林業(株)は、住友グループ

プ発祥の地である別子銅山(愛媛県新居浜市)における銅山経営に必要な薪炭や木材を調達するため、1691年に始められた銅山備林経営がルーツであり、木を植えて、森を育みながら、木を活用し続ける「保続林業」の理念が森林経営の根幹として、時代を超えて脈々と受け継がれています。

2007年以降、社有林の拡大を図った結果、全国で総面積48千畝に及び、これは国土の約800分の1に相当します。

岡山県内でも津山市加茂町以外に西粟倉村影石地内に1200畝を所有しており、少花粉ヒノキの植栽や一貫施業による省力化施業等を積極的に行っています。

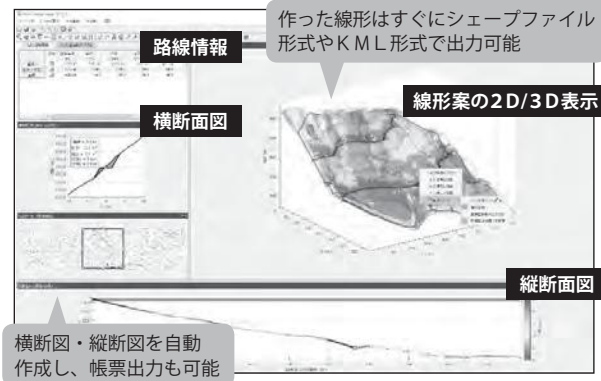
三 管理方法

住友林業の社有林では、5年毎に策定する森林経営計画に基づき、生態系など周辺の環境に配慮しながら、計画的な造林や伐採を実施することで、持続可能な森林経営を実践しています。

津山市加茂町の森林においても、これまでに約3000人の人工林にて皆伐再造林を実施し、森林組合と協力して皆伐後の枝葉搬出により植栽をしやすいとする等、様々な事業

にも取り組んでいます。

住友林業(株)では、豊富な経験とノウハウを有する森林管理スタッフが、定期的な森林調査を通じて、長期的な資源予測・収穫予測に必要な基礎データを取得しており、樹種や林齢、施業履歴などの森林情報と地図情報を一元化した「森林管理データベース」や、路網の自動設計・パラメータ設定・回避箇所の設定等の機能を持った崩れにくく低コストな線形案を効率的に設計できる路網設計支援ソフトForest Road Designer (FRD)を開発し、効率的な森林管理を実践しています。



路網設計支援ソフト(FRD)の操作画面

四 終わりに

津山市加茂地域は10年ほど前からシカの生息数が増え始め、現在では岡山県内で生息数の最も多い地域の一つとなっており、植栽後の管理が課題となっています。

社有林の植栽地においてもシカ防護ネットが施工され、見回りも行われていますが、被害を完全に防ぐことは困難な状況となっています。



シカ防護ネット設置状況

当普及指導区としても、少花粉苗木への植替えの促進やシカ被害対策等を通じて、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルの循環が円滑に推進されるよう、引き続き支援していかるとしています。

(林業普及指導員 大西 俊和)



一 はじめに

新見市は岡山県の北西部に位置し、総面積79,329haのうち約86%を森林が占めています。人工林率は約57%で、ヒノキ72%、スギ25%、その他3%の割合で、全国と比較してもヒノキの割合が高い特徴があります。

今回ご紹介する新見市農林課は、林業振興係、耕地係、農業振興係の3係で構成されており、森林業務は林業振興係が行っています。

【林業振興係のスタッフ】

主幹兼係長1名、主査1名、主事3名

二 取組紹介

① ウッドスタート事業

新見市では、東京おもちゃ美術館が取り組んでいる、子供をはじめとするすべての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らせることを目指すウッドスタート事業に賛同し、平成31年3月18日に、ウッドスタート宣言を行いました。ウッドスタート事業

の一つとして、地産地消の木のおもちゃを市内の幼児にプレゼントする誕生祝い品事業を平成31年4月から開始しました。誕生祝い品の製作に当たっては、平成30年度に、東京おもちゃ美術館のデザイナーの協力のもと、市内の木育団体、林業・木材加工業者、その他関係機関と会議を重ねた結果、本市の特産品であるピオーネをモチーフとした、新見産ヒノキを用いた「新見ピオーネつみき」に決まりました。



新見ピオーネつみき

また、本年度は、新見産木材を使用した、木組みのつみき「クミノ」を市内保育施設に配付しており、保育教諭を対象とした遊び方講習会も開催しました。

市では、今後も幼いころから木に親しみを持てるよう木育の推進を図り、市内の木材需要の拡大、木工分野の活性化に繋がることを期待しています。



クミノで遊ぶ園児

② 木質バイオマス利用促進事業

岡山県で2例目、真庭市に続いて新見市でも、木質バイオマス発電所が令和2年5月12日から売電を開始しました。この新見バイオマス発電所では、間伐などの森林施業で木を伐り出した際に、現地で捨てられていた小径材や枝条、端材などの「林地残材」から作った木質チップを燃料としているため、森林資源を無駄なくエネルギーに活用することができます。そこで、燃料となる林地残材の搬出を促進し、森林環境の保全及び森林資源の有効活用を図るため、

搬出に必要な作業道の開設に対する新たな補助制度を制定しました。市では、燃料の安定供給や、森林所有者の経営意欲向上に繋がることを期待しています。



林地残材搬出作業道の作設状況 (500円/m助成)

三 終わりに

新見市では、林業が基幹産業として成長するよう、森林環境譲与税を活用して、木材の需要拡大や担い手の確保・育成などに取り組んでいます。

当普及指導区では、地域林業の振興をより一層推進していくため、今後も普及指導員が丸となって、市の取組みを支援していくこととさせていただきます。

(新見普及指導区 小倉 浩一)

普及
指導
情報

真備町菌みどりの少年隊 活動紹介
親子でミニ門松づくり

〔倉敷普及指導区〕

一 はじめに

倉敷市真備町は、竹林豊かな「竹のまち」で、県内有数のタケノコの産地として知られています。真備地区では、タケノコ生産だけでなく、特産品である竹を使った、様々な取り組みが行われています。

二 親子でミニ門松づくり

今回紹介する「親子でミニ門松づくり」は、真備町の特産品である竹に親しんでもらおうと、「真備町菌みどりの少年隊」が10年ほど前から実施している竹のまちならではの行事です。元々は、備中南森林組合の指導の下、門松づくりを行っていましたが、今では少年隊の代表者である浅野達郎さんの指導の下で行っています。

今年度は、令和2年12月27日に「真備美しい森」にて開催され、当日は、みどりの少年隊の隊員だけでなく、倉敷市立菌小学校の1～5年生までの8人と保護者が参加し、約20名でミニ門松づくりに取り組みました。

三 門松づくりの手順

まず、真備美しい森内の竹林から、まっすぐに伸びた竹を選び、自分たちの手で伐り出します。

次に、伐り出した竹の枝等、余計な部分を取った後、節を斜めに切ります。節を斜めに切ることで、切り口が突った口のようになりません。切る角度によって口の大きさが変わりますが、浅野さん曰く「節に対して斜め45度くらいで切るのが一番いい」とのことです。

ちなみに地元では、切り口が笑っているように見えるため「笑う



竹の節を切っている様子

門に福来る」といわれています。斜めに切った竹は長さを調節し、3本をガムテープでまとめ、その上を藁の縄で巻いていきます。このときに、竹の向きや縄の結び目の見え方を間違わないよう注意するのがポイントです。

最後に松や梅の枝を飾りつければ立派な門松の完成です。



完成した門松

四 参加者の感想

参加した子供たちは、前述の工程を大人の助けを借りつつも、ほとんど自分たちの手で行いました。竹を切るとは「固くて難しかった」という声や「楽しい」という声がありました。作った門松は家の玄関に飾りたいとはにかみながら答えてくれました。

また、保護者の方からは普段なかなか自然の中で活動することがないため、このようなイベントに参加できてよかったという声がありました。

五 おわりに

本来であれば1年を通して様々な活動をされている「真備町菌みどりの少年隊」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため今回の門松づくりが最初で最後の活動となってしまいました。代表の浅野さんは「来年度はもっと活動をしたい」と、早期の感染症の終息を望んでおられました。

当指導区では、真備町菌みどりの少年隊をはじめ、各少年隊の子供たちが緑の大切さを認識し、地域の緑化の推進に貢献していくべく、活動をサポートしていくこととしています。

（倉敷普及指導区 松宮 悠夏）



完成した門松を持って記念撮影



組み立て作業中

「鏡野町産材ヒノキを使用した
学習机の組み立てワークショップ」
10月30日

鏡野町では、令和元年度から譲与が始まっている森林環境譲与税を活用して、私有林整備への支援や地元産材の普及啓発等に取り組みんでおり、その取り組みの一つである町内の中学生を対象とした木材需要拡大推進事業についてご紹介します。

本事業は、町産材の良さを知り、ふるさと鏡野町への愛着を持ち、物の大切さを学ぶとともに、町産材の需要拡大につながることを目的に、中学生が3年間学校で使用するヒノキの学習机を新たに導入するものです。

この学習机は、令和元年度に生

徒が自ら組み立てることができキットとして地元製材所に作成を依頼し、令和2年度から中学校一年生、二年生及び春から中学生となる小学校六年生を対象に、組み立てワークショップを順次開催することで導入を進めています。



完成した学習机

昨年10月30日のワークショップには、中学一年生110名、中学二年生91名が参加し、生徒同士助け合いながら熱心に組み立てていました。

1月以降は、町内7つの小学校において、6年生が参加してワークショップが開催されています。

完成した机は、卒業時に中学生活の思い出とともに持ち帰ってもらうこととしています。ワークショップに参加した児童・生徒からは、「肌触りが気持ちいい」、「大切に使っていきたい」などと、とても好評でした。

(美作県民局森林企画課)

労働災害の
発生状況について

厚生労働省が発表した労働災害発生状況(速報)によると、令和2年の全国の林業の死傷者数は1,218人で前年より30人の減少となっており、岡山県内では28人で前年より6人の減少となっています。そのうち、死者数は全国で33人が被災されており、岡山県では死亡災害は発生していません。

県では、林業労働の安全を確保するため、関係機関と連携して、おかやま森づくり県民税を活用した安全装備、労働強度軽減資材の導入支援、巡回指導、実技研修会等を開催し、労働災害防止に取り組んでいるところです。

引き続き、安全衛生規則や各種ガイドラインの遵守、現場の安全管理体制の確認、基本動作の励行など、労働災害の撲滅に向け強力な取り組みをお願いします。

(林政課 普及指導班)

林業労働災害の発生は、長期的に減少傾向にあり、これは、高性能林業機械による労働負荷の軽減やチェーンソー防護衣等の安全装備の普及等が考えられています。

しかし、林業における労働災害発生率は、依然全産業の中で最も高い状況であり、今後とも安全衛生対策の確実な実行を推進する必要があります。

○林業労働災害発生状況(死亡内数) (単位:人)

		H28	H29	H30	R元	R2
死傷災害 (休業4日以上)	全国	1,561	1,314	1,342	1,248	1,218
	岡山県	47	31	34	34	28
死亡災害	全国	41	40	31	33	33
	岡山県	1	0	1	1	0

資料:厚生労働省「労働者死傷病報告書」(R2年は速報値)

○労働災害発生率(全国)

区分	死傷千人率
全産業	2.2
林業	20.8
木材・木製品製造業	10.6

資料:厚生労働省「業種別死傷千人率」(H31/R元年)

・死傷千人率とは、労働者1000人当たり1年間に発生する労働災害による死傷者休業4日以上を示したものの。

『木の潤い環境整備事業』

1 事業の概要

岡山県教育委員会では、おかやま森づくり県民税を活用し、県民全体で岡山の森林を守り育てるという意識を醸成するとともに、児童生徒やその保護者等が県産木材について知り、考える機会を提供するため、全ての県立学校に県産木材を使用したテーブルやベンチ等の製品を設置する取組みを行っています。

令和元年度は16校、令和2年度は18校にテーブルやベンチ、ロッカー等を整備しました。



本事業を活用し整備したミーティングテーブル
(笠岡高等学校)

2 事業評価と今後の取組み

事業の実施に当たっては、製品を玄関や食堂などの来客者も訪れる場所に設置することで、学校関係者だけでなく、県民の方への県産木材の周知にもつながるよう努めています。

また、これまで事業を実施した学校からは、「木の温かみやぬくもりが感じられる」、「今後、県産木材を使用した製品の導入も検討したい」などと非常に高い評価を受けています。

今後、全ての県立学校において児童生徒が県産木材に触れる機会を創出できるよう取組みを進めていきたいと考えています。

(岡山県教育庁財務課)



本事業を活用し整備した傘立て
(岡山西支援学校)

『森林の担い手』育成事業

1 事業の概要

岡山県教育委員会では、「おかやま森づくり県民税」を活用して、林業関係の学習を行う県立高等学校の生徒等を対象に、将来における林業の担い手育成に資する取組みを行っています。

(1) 林業就業に向けた高度な技術実習等の場の提供

県内で唯一、演習林を活用した林業学習を行っている勝間田高校では、森林・林業分野におけるドローンの体験学習を行っています。また、チェーンソーを活用した伐木の技術等を競う全国大会への参加に向けて、安全教育を含む技術実習及び講習を行っています。



チェーンソーの技術実習及び講習

(2) 林業大学校、先進地の視察

中山間地域に位置し、林業関係の学習を行う勝間田、真庭、新見、高梁城南高校の生徒を対象に、近隣の林業大学校や、林業関係の先進地への視察を行っています。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、中止している活動もあります。



兵庫県立森林大学校での研修

2 事業評価と今後の取組

本事業への参加や、高校3年間の林業学習を通して、県内の林業関連企業への就職や、兵庫県立森林大学校へ進学をする生徒もいます。引き続き、取組みの充実を図り、情報発信に努めてまいります。

(岡山県教育庁高校教育課)

「ニューフェイスです！」

備中南森林組合

山本 晃誠さん (21歳)

今回は、備中南森林組合の山本晃誠さんをご紹介します。

山本さんは平成30年4月からニューフェイスとして勤務する、3年目のニューフェイスで、取材に緊張しながらも答えてくれました。



備中南森林組合 山本 晃誠さん

一 経歴

倉敷市児島の出身ですが、途中、父親の転勤で愛知県に引っ越し、高校まで愛知県で過ごしています。

児島での幼少時代は、ボーイスカウトに入って自然に親しみ、高校は愛知県内の林業科のある学校に進学し、林業の知識、下刈りなどの実習、刈払機やチェーンソーの機械操作などを学びました。高校ではフォレスター部に所属し、木工品や抽出した木材の成分を入れたパンを作ったり、イノシシの革のなめしを行うなど森に関する様々な活動を行いました。

山仕事への思いは、この当時に上映された「WOOD JOB! (ウッドジョブ)」を見て、更に強まりました。

就職は、幼少時代に思い入れのあった両親の故郷に近い場所がよいと考え、備中南森林組合に就職することを決め、現在は祖父母と過ごしています。

二 仕事の内容

最初の仕事は、造林地における苗木の運搬や鋤を使つての植栽作業から始めましたが、現在では下刈り、除・間伐、人家周りの支障木の伐採などの作業も行っています。

就職当初は現場作業で疲れ果てて、帰りのコンビニの駐車場で車

中泊をしてしまうといったエピソードもありましたが、組合長をはじめ周りの先輩が優しく接してくれるため、毎日楽しく充実した日々を過ごしています。

就職して、道具の手入れの大切さや教科書で教わったことと現場は全く違うことがわかりました。体力的にはきついですが、きれいに森林整備を行った現場を見ると清々しく達成感があり、やりがいがある仕事だと思っています。



伐採作業中の山本さん

三 抱負

3年目になり仕事にも慣れてきましたが技術的にはまだまだで、

先輩の技術や自信に感心するばかりですが、正確な伐倒など各種作業の基礎や目立て技術を磨くため、たくさん経験を積んで、少しでも早く先輩に追いつけるよう頑張りたいです。

今後は、これまでに受けた資格等を活かし、高性能林業機械も扱えるようになりたいです。

四 将来の夢

現在は、趣味として50匹以上のオオクワガタを飼育していますが、将来的には、山奥に山小屋を自作してそこに住みながら狩猟も楽しみたいですね。

五 おわりに

今回の取材により、山本さんの向上心や愛される人柄が伝わってきました。先輩方からの期待も高く、今後ともご活躍いただければ、当普及指導区として引き続き支援していきたいと思えます。

快く取材に応じてくださった山本さんをはじめ備中南森林組合の皆様方には、井笠地域の森林整備の中核的な担い手として益々のご活躍をお祈りしています。

(井笠普及指導区 花田 智雄)

令和2年度林業技術研修について

今年度、農林水産総合センター森林研究所において実施した林業技術研修についてご報告します。

一 市町村等支援研修

森林経営管理制度に取り組む市町村職員等を対象に、森林・林業の基本的な知識の習得のための研修を4日間実施しました。

なお、当研修は林野庁が実施する地域林政アドバイザー研修に準ずる研修として認定されています。



第4回研修の様子
(森林法令)

二 林業機械体験研修

林業への新規就業促進を図るため、林業関係学科の高校生や就業希望者等を対象に、ハーベスタやフォワーダなどの高性能林業機械



勝間田高校2年生による機械操作体験

の操作体験を実施しました。今回の体験がきっかけとなり、一人でも多くの新規就業者が誕生することを期待しています。

三 多能工育成研修

① 森林作業道作設オペレーター育成研修（基礎～応用）

本県の地形、地質及び作業システムに適した森林作業道の作設ができるオペレーターを育成する研修を本年度も実施しました。

基礎研修では、路線計画、踏査選点、支障木の伐倒処理及び基礎土工を、応用研修では、S字カーブの設計・測量や施工時の土砂の流用等について重点的に実習を行いました。

② 機械整備技術習得研修

林業の現場で欠かすことのできない高性能林業機械の整備や応急措置に対応できる技術習得研修を、今年度初めて実施しました。

受講者からは、「電気系統などの仕組みがわかり、現場で故障が生じた時の対応が理解できた。自社に戻って実践で活用したい。」との声が聞かれました。



ハーベスタの整備研修

四 伐採技術向上研修

林業就業者の技術向上や労働災害の撲滅を図るため、林業経営体の現場指導者を対象に、立木伐採技術の要点や指導方法をマニュアル化する研修を実施しました。

研修では、これまでの研修内容からマニュアルのたたき台を作成し、受講者の実際の指導経験や労働災害VRシミュレーターでの体験などを活かして、指導マニュアルを作成しました。

来年度は、指導マニュアルを活用し、今回の研修受講生が講師として研修を実施する予定です。

五 林業経営体育成研修

森林整備を担う林業経営体が、長期間にわたって安定的な経営を行うことを目的に、経営コンサルタントを講師に迎え、経営に係る意識改革、人材育成、コミュニケーション能力の向上などのマネジメント研修を実施しました。

さらに、今年度から素材生産から木材利用までの幅広い知識を、林業経営体等の新規採用者に習得してもらうため、森林・林業・木材産業の基礎研修も実施しました。

六 おわりに

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら研修を実施したこともあり、市町村や林業経営体の皆様には、何かとご不便をおかけしました。

来年度は、新たな林業技術研修施設において、皆様のニーズに応じた研修を実施してまいりますので、当センターの各種研修にご参加くださいますようお願いいたします。

(普及推進課 林業普及推進班)

平成30年7月豪雨
による治山・林道
関係災害の復旧に
ついて

岡山県に甚大な被害を
もたらした平成30年7月
豪雨災害から3年近く経
過しました。

治山・林道関係では、
山腹崩壊や土石流など
による治山災害、林道施設
の被害が多数発生し、家
屋の倒壊や土砂の流入、
道路の寸断など県民の皆
様の生活に大きな影響を
与えました。

県では、一日も早い復
旧・復興を実現するため、
平成30年8月に「平成30
年7月豪雨災害からの復



被災時 新見市



復旧後



被災時 矢掛町



復旧後



被災時 真庭市



復旧後

旧・復興ロードマップ」
を策定し、このロードマ
ップに基づき復旧を進め
てきました。

現在、治山災害・林道
施設災害共に、全箇所
の復旧工事に着手し、9割
以上の箇所です工事を完了
しています。
引き続き、全箇所の早
期復旧完了に向け、取り
組んでまいります。

(治山課整備班)

緑あふれる環境づくり

 株式会社 **山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

おかやまの木で家づくり支援事業

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）

 詳細は
コチラ <http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人 **岡山県木材組合連合会**
〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)
TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

技能講習会の開催（4月～5月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	5月13,14日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	5月27,28日	
玉掛け	岡山	4月8,9日、5月6,7日	
		5月8,9日	
	和気	4月20,21日	
	新見	5月20,21日	
フォークリフト運転	岡山	4月2日、4月17日	
		5月12日	
	和気	4月6日	
	津山	4月15日、5月26日	
刈払	津山	4月26日	
	岡山	5月31日	

新たにドローン導入しました

苗木・資材運搬に活用し、労務負担軽減と作業効率UPに期待！
 興味のある方または検討されている方は、当会までご相談下さい。

共販日（特別市）のご案内

各共販所へ多くの出荷をお待ちしております。

- 【津山木材共販所】開設59周年記念市
4/9（金） 10時50分～
- 【新見木材共販所】開設57周年記念市
4/23（金） 9時30分～
- 【勝山木材共販所】開設55周年記念市
4/28（水） 9時30分～



〔 写真：コンテナ苗運搬状況（約9kg）
 林業用ドローン最大運搬重量 約15kg 〕

Jforest 岡山県森林組合連合会 tel 086-222-7671



CT-500C

・GP-532
 小型ハイパワープロセッサ

IWAFUJI
 INDUSTRIAL CO., LTD.



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

林 産 物 市 況



●木 材 (2月17日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4 ~ 1 6	11	—	桧	3 m	1 4 ~ 1 6	18	15
		1 8 ~ 2 0	11	—			1 8 ~ 2 0	16	15
		2 2 ~ 2 8	11.5	—			2 2 上	16.5	15.5
	4 m	1 8 ~ 2 2	10	—		4 m	1 4 ~ 1 8	20	19
		2 4 ~ 2 8	11	—			2 0 ~ 2 2	18	17.5
		1 6 ~ 1 8	13	—			2 4 ~ 2 8	18	17.5
松	3 m	1 8 ~ 2 2	9	8	6 m	1 6	18	—	
	4 m	1 8 ~ 2 2	11	8		1 8 ~ 2 0	28	24	
・ 出荷材積				約1,200m ³					
(共販所より概況)									
杉概況 前回市に続き出材が少ないため合板材、チップ材などの価格が上昇 【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 【4m】 中目材 横這い 元 木 横這い					桧概況 4 mの引き合いが強く、良い相場を維持 【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 元 木 横這い 【4m】 柱 材 強含み 中目材 横這い 元 木 横這い				
松概況 品薄だが相場は横這い。									

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製 材 (2月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/m ³)	備 考
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 53,000 (市場)	
ヒ ノ キ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	65,000 (無背割)	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	60,000 ~	
	正角 4 m 10.5cm角	特等	K	65,000 ~	
	正角 4 m 12cm角	特等	K	63,000 ~	
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm ×15~18cm	一等	K	75,000	
米 マ ッ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	62,000 ~	
	平角 3 m、4 m 10.5 ×15~21cm	特等	G	60,000 ~ 63,000	
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	68,000 ~ 70,000	
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	55,000 ~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
 注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース
造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齡樹保護カバー〕くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST
INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があつたとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約4千万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 27,444 円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 43,325 円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

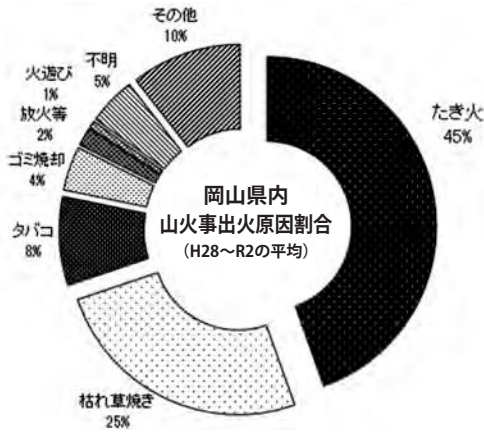
○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

3月は山火事予防運動月間です

春先は、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。県では3月を「山火事予防運動月間」と定めて、県民の山火事予防意識の向上に取り組んでいます。

県内では、過去5年間に285件の山火事が発生し、42釜の緑が失われています。その原因は、たき火の不始末、枯れ草焼きといった人の不注意によるものがほとんどです。



ひとたび山火事が発生すると、一瞬で大切な森林が失われてしまいます。

今年の全国統一標語は「あなたです 森を火事から 守るのは」です。山火事を防ぐ6つのポイントに注意して、大切な森林をみんなで守り、未来へと引き継ぎましょう。

★山火事を防ぐ6つのポイント

- ① 強風・乾燥時はたき火をしない
- ② たき火の後始末は完全に
- ③ タバコの投げ捨てはしない
- ④ 子どもの火遊びはダメ
- ⑤ 山焼きやあぜ焼きなどは一人でしない
- ⑥ 火入れをするときは許可を受けよう



(治山課保全班)

ほっけー木になる情報

Q. 新型コロナウイルス感染症の影響で、県内への観光客が減少しています。自然公園の誘客アツプに向けて、どんな取組みをされていますか？

A. 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光を控える傾向が続く中で、密とならない屋外レジャーが注目されています。

本県は、国立公園2地域と国定公園1地域、県立公園7地域を有しており、県内の特に優れた風景地が指定されていることから、年間1000万人以上の方に利用されていますが、課題もあります。

【主な課題】

- ・ 自然公園に整備している休憩舎、トイレ、展望台等が老朽化し、利用制限や公園の景観を損なっているものも多い。
- ・ 観光客の受け入れに関わる人材に、地域観光の知識や接客スキルに個人差がある。

【県の取組】

県では、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」と連携し、3密を避けて利用しやすい自然公園の魅力効果的にPRし、自然公園

内の施設環境の整備とともに、観光客の受け入れに関わる人材を育成し、自然公園をウイズコロナ・アフターコロナの観光先として積極的に活用し、地域経済の活性化を図りたいと考えています。

(ソフト事業)

- ・ コロナ対策を踏まえたSNSの活用による発信力強化研修
- ・ 人材育成（地域観光の基礎知識の習得、コロナ対応を含む接客スキル向上の研修）など

(ハード事業)

- ・ 園地、登山道整備、標示多言語化などの施設整備
- ・ 案内板、誘導標識等のリニューアル、老朽化し景観を損なっている施設の撤去など

※令和3年度予算要求中



トイレのリニューアル例 (真庭市蒜山下徳山 鬼女台園地)

(自然環境課)

林声

令和三年三月一日（第四七六号）
（隔月一日発行）



展望台と石造十三重層塔

今回は赤磐市石蓮寺にある「石蓮寺みんなの森」をご紹介します。
この公園は、美作岡山道路の熊山ICから北へ車で約10分、石蓮寺の山頂付近に位置しています。
園内には鎌倉時代に建立された花崗岩製の石造十三重層塔（県指定重要文化財）があります。この石塔は、高さが約6.5メートルと県下最大、十三重層塔としても県下唯一の存在であり、地元のシンボルとなっています。
公園の総面積は5.9鈔で園内

森林・林業施設の紹介

「石蓮寺みんなの森」

には工房棟・展望台・炭焼き窯・備前焼窯・東屋等が設置されています。春にはお花見、野鳥の観察、秋には気象条件にもよりますが、雲海を眺めることもでき、毎年、市内外から約3,000人の方が来園をされています。



工房棟と芝生広場

また、園内には、遊歩道が整備されており、気軽に森林浴を楽しむことができます。
ぜひ、豊かな自然と歴史に満ちた「石蓮寺みんなの森」を訪れてみてください。

【お問い合わせ先】

赤磐市熊山支所

電話086-995-1217

（東備普及指導区 木村 正三）

編集 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
発行 〒700-0866 岡山市北区岡南町二一五一一〇

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造元 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

認定番号 K0809236